

～遊びの学校が開催されました～

NPOわんぱーく主催の「遊びの学校」が、今年も夏休み期間中の約20日間、大崎小学校を会場に開催されました。22回目となる今回は、町内の各小学校から65人の児童が参加し、全ての参加児童が安心して活動できるよう、安全管理や健康面にも十分な配慮がなされた環境の中で、学習活動や工作、レクリエーションなど、充実したプログラムに取り組みました。

子どもたちは、支援スタッフの指導のもと、自然や環境について学びながら、仲間と協力して作品づくりや体験活動を楽しみました。これらの活動を通して、自主性や思いやりの心が育まれ、笑顔あふれる夏休みとなりました。



遊びの学校での児童たちの様子

～環境学習会 (水を調べ隊) ～

8月27日(木)「遊びの学校」の活動の一環として環境学習会(水を調べ隊)が開催されました。

学校前の水路や持留川から自分たちの手で水を採取し、水質調査に挑戦しました。検査キット(パックテスト)や器具を使って水の汚れ具合や透明度、水素イオン濃度指数を示す「pH」の測定をおこないました。検査キットを使って水の色が変化の様子や数値を観察し、「見た目ではわからないけれど、測ってみるといろんなことがわかるんだ!」と驚いた様子でした。

また、上流から海へと近づくにつれて水質が変化していくことに気づいた児童は、「海に近くなると、だんだん汚れていくことがわかった。汚れは水道にそのまま流さないようにしようと思った」と語ってくれました。

毎日の暮らしの中で水を大切に使用したり、身近な自然に目を向けたりすることで、大崎町の豊かな自然を守る輪を広げていきましょう。



環境学習会(水を調べ隊)
検査キットを使った水質調査の様子

環境政策課では、脱炭素の取組の一環として、海岸に漂着した流木を炭化させた「バイオ炭」を活用する実証事業を進めています。今回の学習会(水を調べ隊)では、実際にそのバイオ炭を使った水の浄化実験をおこないました。身近な自然環境や地球温暖化防止について、五感で感じて考える一日となりました。



海岸の流木を炭化させている様子